

東播磨

明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町

きらっとVision

第12号

東播磨地域ビジョン情報誌

CONTENTS

- ★ 第9期東播磨地域ビジョン委員会が始動!
- ★ 東播磨地域ビジョンとは?
- ★ 分科会紹介
- ★ 東播磨地域ビジョン委員会が取り組む重点行動プランを紹介!
- ★ ズームアップ! ~若者がめざすビジョン~ ほか



全体会(委員総会)



ビジョン室管理運営チーム会議

HIGASHI-HARIMA VISION

AKASHI
KAKOGAWA
TAKASAGO
INAMI
HARIMA



兵庫県マスコット はぼタン



海の学習・投網教室



企画部会



第9期東播磨地域ビジョン委員会のスタートにあたって

第9期東播磨地域ビジョン委員会 委員長 瀧本 眞一

第9期東播磨地域ビジョン委員会の活動が始まりました!

この委員会は、東播磨地域の将来像や夢を描いた「東播磨地域ビジョン」に掲げた「水辺・ものづくりのまちで生きる」の理念を実現するために活動し、将来像である「心地いいまち」「楽しいまち」「美しいまち」「力強いまち」を創り上げていきます。2001年9月からの実績を踏まえ、新任委員の斬新なアイデアと、再任委員の経験を融合させて、将来像ごとの分科会活動をさらに充実させていきたいと思います。具体的には7月14日現在、9の実践活動グループが4つの将来像の実現に向けて、実践活動を行っています。その活動の成果を地域に還元し、理念の実現につなげていきたいと思います!



東播磨3市2町(明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町)に関わる人々が、「こんな地域にしたい」という夢や、それを実現するための取組などを描いた“東播磨地域ビジョン”。平成30年4月、第9期東播磨地域ビジョン委員会が始動しました。これからの2年間、新しく選ばれた委員が、ビジョンが描く将来像の実現に向けた取組について考え、話し合い、行動していきます。



第9期東播磨地域ビジョン委員会 活動報告!



委嘱式・第1回全体会 4月22日(日)

委嘱状の授与後、第9期の始動にあたり、四海達也東播磨県民局長から、今後数十年にわたって続く人口減少社会において、これまでのものさしを変え、私たちに何ができるか考えなければならないというお話を伺いました。

また、委員の互選により瀧本委員長が選任されるとともに、委員長の指名により沖村副委員長が選任されました。



第2回全体会 5月12日(土)

第9期東播磨地域ビジョン委員会の推進体制について、委員長から報告がありその後、重点行動プランの策定と実践活動までの流れについて説明を受けました。質疑応答も活発に行われ、相川専門委員から「委員の任期終了後も、役立つような力(統計数値などを読みこなしてビジョンを持つ力、企画書を書く力、いろんな人と協力し連携する力)を付けてほしい」というアドバイスなどもいただき、とても有意義な時間となりました。



第3回全体会 7月14日(土)

これまでの企画部会、分科会及びプロジェクトの活動報告と、これから委員会が取り組む重点行動プランのプレゼンテーションを行いました。7月14日現在、企画部会の承認を得た9の実践活動グループが多彩な活動を展開していきます。



東播磨地域ビジョンとは？

東播磨地域ビジョンは、住民の皆さん自らが地域の望ましい「将来像・夢」を描いたもので、その実現に向けて、住民一人ひとりや団体、企業、行政など様々な主体が共有し、ともに取り組んでいくための指針です。「水辺」と「ものづくり」という東播磨地域の特性を踏まえ、ビジョンの理念・方向性と将来像を定めました。



営みの源となる「水辺」

東播磨には、ため池、水路、県内最大の流域面積を持つ加古川、明石海峡や播磨灘に面した海岸など、豊かな水辺が身近にあります。これらは、私たちの営みをささえる地域の財産であり、地域づくりの舞台です。

豊かな水辺を守り、生かす東播磨づくり

活力を生み出す「ものづくり」

東播磨のものづくりは、人・もの特性と価値ある情報を駆使して技術力を高め、人々の豊かな生活を支えるとともに、農林水産業や文化についても、知恵と活力を生み出し、にぎわいを創出する原動力となっています。

人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

理念

水辺・ものづくりのまちで生きる

「水辺」と「ものづくり」を地域特性とした東播磨で、生き生きと暮らし、育ち、学び、働ける



ビジョンが描く4つの将来像

～これからの東播磨をこんな地域にしたいという姿をイメージしています～

安らぎとめくもりを感じられる

心地いいまち 【暮らしづくり】

取組例① 防災学習会
取組例② まちの結びつき再生サロン

自分らしさと生きがいを感じられる

楽しいまち 【人づくり】

取組例① 地域づくり活動ネットワーク
取組例② 未来を描く力を育てる応援隊

自然と文化の豊かさを感じられる

美しいまち 【まちづくり】

取組例① 豊かな水辺を守り、次代へ伝えるプロジェクト
取組例② 地球にやさしいエコ・アクション

誇りと可能性を感じられる

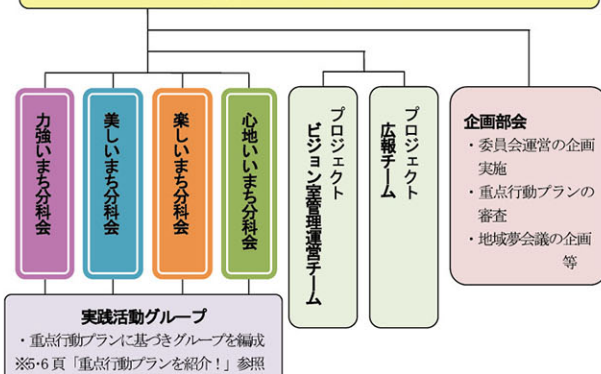
力強いまち 【活力づくり】

取組例① ものづくり体験ツアー
取組例② まちづくり研究会

東播磨地域ビジョン委員会って何？

第9期東播磨地域ビジョン委員会組織図

全体会（ビジョン委員76名、専門委員3名）
・委員会の運営等に係る方針の決定



4つの将来像の実現のためには、住民自らの参画と協働により取り組むことが大切です。

その中心的な役割を担って活動しているのが、公募で選ばれた地域ビジョン委員で構成される「東播磨地域ビジョン委員会」です。第9期は、76名の委員がともに地域の将来を考え、活動しています。

【企画部会構成員一覧】

区分	氏名	役職名
部会長	瀧本真一	委員長
	沖村光昭	副委員長
部会長代理(2名)	大川 保	副委員長
	岩見 明	心地いいまち分科会座長
分科会座長(4名)	沖村光昭	楽しいまち分科会座長
	西川孝晴	美しいまち分科会座長
	田中慎悟	力強いまち分科会座長
	石崎 徹	心地いいまち分科会座長代理
分科会座長代理(4名)	大宮慶子	楽しいまち分科会座長代理
	藤原 昌	美しいまち分科会座長代理
	春下充代	力強いまち分科会座長代理
	西本祐子	広報チームリーダー
プロジェクト・チームリーダー(2名)	植野新治	ビジョン室管理運営チームリーダー

分科会紹介

東播磨地域では、皆さんの夢や目標を「心地いい」「楽しい」東播磨地域ビジョン委員会は、4つの将来像ごとに分科会を設置し、

心地いいまち分科会



座長 岩見 明

●これまでの活動

- H30.4.22(日) 第1回暫定分科会
- H30.5.12(土) 第2回暫定分科会
- H30.5.29(火) 第1回心地いいまち分科会
- H30.6.19(火) 第2回心地いいまち分科会
- H30.7.10(火) 第3回心地いいまち分科会
- H30.7.14(土) 第4回心地いいまち分科会



まず最初に、東播磨をどのような地域にしたいのかという話し合いから始め、安心した暮らしや災害への備えなど、各委員の想いをグループ分けし、共通するものをまとめてきました。その中で「つながる」というキーワードを共有することとなりました。

現在の話し合いの中心は、運転免許証の自主返納についてです。買い物難民など、様々な課題が出てくる中、その解決に向けてどのようなことができるのか、検討を進めています。

心地いいまち分科会として、現状把握をどうするのか、課題の解決に向けてどのような活動を行うのかなど、これから詰めていきたいと考えています。

楽しいまち分科会



副委員長兼座長 沖村 光昭

●これまでの活動

- H30.4.22(日) 第1回暫定分科会
- H30.5.12(土) 第2回暫定分科会
- H30.5.26(土) 第1回楽しいまち分科会
- H30.6.16(土) 第2回楽しいまち分科会
- H30.7.4(水) 第3回楽しいまち分科会
- H30.7.21(土) 第4回楽しいまち分科会



「第3回全体会」を終え、楽しいまち分科会のメンバーもおおむね確定しました。これからは、メンバーが楽しい、そしてイベントに参加される皆さまも楽しいと思っていただけるよう、4つのプラン「ハートランドぐり石ネット」「夢のたね」「論語を東播磨で活かそう(仁譲塾)」、そして新企画「東はりまコミュニティがく団」の代表者をはじめ、所属するメンバーの方々と工夫して、「楽しい」を求めた実践活動を積極的に進めてまいります。

前期から継続する3プランは、活動に新しい取組を加え、楽しさのスパイスをさらに効かせて、新企画にはほかの分科会との協働を図ることを視野に入れて、産みの苦しみから楽しい華を咲かせるように取り組みたいと思いますので、4つの活動にどうぞご期待ください。

「美しい」「力強い」の4つの将来像に表して、その実現に向けた取組を進めています。
それぞれ目標を掲げ、実践活動を行っています。



美しいまち 分科会



座長 西川 孝晴

人が、自然と文化の豊かさを感じながら、資源を生かし、循環できる「美しいまち」—この将来像をめざし、これまで分科会を3回開催し議論を重ね、2つの重点行動プランを企画しました。

①東播磨の豊かな水辺を守り伝える

【水辺に学ぶプロジェクト:継続】

②市街地ため池の未来を考えるプロジェクト

【東播磨コミュニティプランナーズ:新規】

今後、これらの重点行動プランを着実に実践していくとともに、「美しいまち」づくりをめざした新しい取組を検討していきます。

●これまでの活動

- H30.4.22(日) 第1回暫定分科会
- H30.5.12(土) 第2回暫定分科会
- H30.6.2(土) 第1回美しいまち分科会
- H30.6.30(土) 第2回美しいまち分科会
- H30.7.14(土) 第3回美しいまち分科会
- H30.9.15(土) 第4回美しいまち分科会



力強いまち 分科会



座長 田中 慎悟

力強いまち分科会は、誇りと可能性を感じながら、地域の底力を発揮し、魅了できる「力強いまち」づくりをめざします。それを達成するため現在、2つの重点行動プランを企画しました。「サイクルツーリズムルートプラン」(輪友ネット)と「東播磨地域文化施設の連携、ネットワーク化に向けて」(らくがく倶楽部)です。手段はそれぞれ異なりますが、地域の活性化をめざしています。

また、新しいプランも生み出されようとしています。それぞれの活動と並行して、分科会全体で「新しい何か」を生み出せないかを模索してまいります。ゆっくり時間をかけて、「力強いまち」づくりをめざしていきたいと考えています。

●これまでの活動

- H30.4.22(日) 第1回暫定分科会
- H30.5.12(土) 第2回暫定分科会
- H30.6.15(金) 第1回力強いまち分科会
- H30.7.31(火) 第2回力強いまち分科会
- H30.9.7(金) 第3回力強いまち分科会

第9期東播磨地域ビジョン委員会が取り組む 重点行動プランを紹介!



ビジョンの実現に向けたアイデアをもとに、各分科会で地域の課題や望ましい姿など、それぞれの想いについて話し合った結果、9の重点行動プラン(7月14日現在)が提案されました。その後、企画部会での意見交換を踏まえ、提案内容をさらに検討し、実践活動を開始しています。地域ビジョンの実現に向けて、活動の輪を広げていきます!



ネットワークで地域連携支援活動 ハートランドぐり石ネット

楽しい

県民の視点から見た「いつも楽しい東播磨」の実現をめざし、地域活動団体をはじめ、個人、地域自治会、そして行政と連携のもと、地域住民活動のサポートシステムづくりを進めています。

今年度は、伊能忠敬没後200年を記念して、ふるさとひょうご創生塾ご縁グループと連携を図りながら、「伊能忠敬の歩いた播磨みち」をテーマにした「ふるさと探訪」「ボランティアの井戸端会議」を開催し、地域活動が楽しいものになるように頑張っています。



夢のたねプロジェクト わくわくドキドキ感動体験 夢のたね

楽しい

東播磨地域の将来を担う子どもたちに、職業観や将来のビジョンを持ってもらおうと、学校や企業等との連携により、地元で活躍する「職業人」が小学校へ出向き、子どもたちと語り、職業体験を行う「職業人と語ろう」を開催しています。

また、夏休み講座「きっずわくわく体験教室」と題して、BAN-BANネットワークス(株)と連携し、子どもたちにケーブルテレビ局の仕事体験と、わくわくする体験教室を開催しています。

論語を通して次代の担い手となる人材育成支援活動 論語を東播磨で活かそう(仁讓塾)

楽しい

江戸時代に庶民の教育の場として創設された学問所「申義堂」で「論語素読教室」の開催や、小学生を対象とした「小学生論語素読会」を開催し、あいうえお論語や論語かるたを使い、人としての生き方、友達とのつながりなど、楽しく学んでいます。今後さらに青少年の健全育成をめざして、論語の普及に取り組みます。

子曰わく
学びて時に之れを習う
亦説ばしからずや
朋遠方より来る有り
亦樂しからずや
人知らずして慍みず
亦君子ならずや



東はりま地域に「学」び、参加する「楽」しさを 知るプロジェクト 東はりまコミュニティがく団

楽しい

社会貢献活動への参加や講義、ワークショップ、フィールドワークにより、地域に必要なとされる団体を支援するためのノウハウやスキルを学び、その技術を身につけた人材(サポーター)と支援を必要とする団体をつなぎ、地域の「お困りごと」に協働して取り組むプロジェクトを進めていきます。「参加する楽しさを知る」人づくりを目的としています。

各地域の防災の課題を考え実践する 地域防災・減災推進グループ

心地いい

これまで、平成23年台風12号により甚大な被害をもたらされた法華山谷川における課題を検証し、地域防災力の向上を図ってきました。今後はさらに、この活動の舞台を東播磨全域に広げ、まずはメンバーが在住する地域の災害リスクについて考え、地域間連携を築き上げるとともに、自主防災組織及び近隣地域と減災対策や避難訓練を実施し、地域防災力のさらなる強化を図っていきます。



東播磨の豊かな水辺を守り伝える 水辺に学ぶプロジェクト

美しい

東播磨の豊かな水辺を守り伝えるため、主に3つの取組を進めています。7月21日(土)、加古川河口干潟を舞台に、豊かな生態を学び、投網を体験する「海の学習」を開催しました。また、地域住民と水辺管理者が課題を共有する「語ろう会」を開催するとともに、ハマボウフウ(海浜植物)とカワラナデシコ(河原植物)の保全活動を進めています。

市街地ため池の未来を考えるプロジェクト 東播磨コミュニティプランナーズ

美しい

近年の東播磨地域では、市街化が確実に進み、地域に数多く点在するため池の果たす役割や、地域住民が考えるため池の存在意義に変化が生じています。私たちは、豊かな水辺を生かした「美しいまち」を実現するため、地域のかけがえのない資産であるため池について、どう扱うべきなのかを考える必要があります。

住民主体のまちづくりが求められている認識のもと、これまでの経緯と現状の把握や、今後の在り方の検討とその実現への行動について考え、取り組んでいきます。



サイクルツーリズムルートプラン 輪友ネット

力強い

第8期では、たくさんの人にポタリング(自転車散歩)を楽しんでもらいつつ、東播磨地域の良さを知ってもらうため、加古川土木事務所との連携により、姫路明石自転車道を中心に、地域資源を盛り込んだ地図「さわやかサイクリング東はりま南回廊」を発行しました。今後、さらに地元だけでなく他府県からの観光客も、ポタリング感覚で楽しめるモデルコースを検討し、自転車の利用を促進するとともに、将来的にはエコ社会の実現をめざします。

東播磨地域文化施設の連携、ネットワーク化に向けて らくがく倶楽部

力強い

東播磨地域には、文化の中核を担う、魅力ある文化施設がたくさん存在しますが、利用者は減少傾向にあります。それは、県民にとってもったいないことです。これを打破する1つの方法として、異分野間の施設連携、ネットワーク化を進めています。施設同士の連携により、1つの施設では成し得ないことを実現でき、新しい何かが生まれる可能性もあります。まずは、施設の認知度向上、利用者の増加、そして地域の活性化をめざします。



このたび、ビジョン委員に就任された現役大学生のお二人に、ビジョン委員となった経緯や、若者目線のビジョン、今後取り組みたいことについてお話を伺いました。

今回、ビジョン委員となったきっかけは、地域活動に興味があるなか、指導教員から委員の応募を勧められ、背中を押してもらえたからです。

この活動を通して、東播磨地域の個性(人・自然・文化・まち)に注目し、その良さを生かすことができる活動に積極的に参加して、地域に貢献していきたいと考えています。

(時田 彪我)

私はもともと地域活性化に興味があり、ビジョン委員になれば、人と人のつながりができて、地域同士の交流に貢献できるのではないかと思います、参加しました。

今、私が一番強く思うことは、誰が見ても美しいと思う、魅力的な東播磨地域にしたいということです。学生ならではの目線を生かし、ビジョンの実現に向けて頑張りたいと思います。

(藤井 佳樹)



① 情報コーナー/Information

東播磨地域夢会議 (加古川総合庁舎 5階会議室)

平成30年12月1日(土) 13:30~16:30

東播磨地域ビジョンに描かれた夢を実現するため、参加者全員で地域づくりについて考えます。



ビジョンフェスタ in 東播磨 (イオン明石ショッピングセンター 2番街 海の広場)

平成31年2月3日(日) 10:30~16:00

パネル展示や体験教室などにより、東播磨地域ビジョン委員会の取組を紹介します。また、多彩な出演者によるステージ演奏や踊りを実施します。



編集後記

第9期東播磨地域ビジョン委員会は、理念「水辺・ものづくりのまちで生きる」のもと、夢と願いを描き、住民主体によるビジョンの実現に向けて、多彩な地域づくり活動に取り組んでいます。

広報チームでは、それらの活動をより多くの人に発信したい、という熱い想いで広報活動を頑張っております。

今年度の情報誌「きらっとVision」は、年2回の発行を予定しています。発行にあたり、ご理解とご協力をいただき皆さまには、広報チーム一同、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(広報チームリーダー 西本 祐子)

東播磨地域ビジョン委員会 facebookで情報発信!

ビジョン委員会の取組を随時紹介しています。ご覧いただいた方は、ぜひ「いいね!」を押してください。



いいね!



Facebook 東播磨地域ビジョン委員会

検索